

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」について

- ・地震の規模はM9.0
- ・依然として規模の大きい余震が発生しています
- ・現在、津波注意報を発表中です

【地震の規模について】

今回の地震について、詳細に解析した結果、地震の規模(マグニチュード)を、8.8から9.0としましたので、お知らせします。

(注)ここで示す地震の規模は、CMT解析によるモーメントマグニチュード(Mw)

【余震活動の状況と今後の見通しについて】

余震は、岩手県沖から茨城県沖の長さ約500km、幅約200kmの領域で発生しています。

余震活動は極めて活発な状況で、震度5弱以上となる大きな余震が時々発生し、場合によっては震度6弱～6強となる余震が発生する可能性も高いので警戒して下さい。

また、大きな余震が発生した場合、津波警報を発表する場合がありますので、十分注意して下さい。

(参考)余震発生確率(平成23年3月13日09時現在での推定)

現在までの余震発生状況から推定した余震発生確率は以下のとおりです。

	マグニチュード7以上
3月13日10時から3日間以内	70%
3月16日10時から3日間以内	50%

マグニチュード7の地震が内陸や沿岸部で発生した場合:

震度6弱、ところにより震度6強程度になると予想される*

マグニチュード7の地震が沖合(沿岸から約100km)で発生した場合:

震度4から5弱、ところにより震度5強程度になると予想される*

* 地盤の悪いところではこれよりも震度が大きくなる場合があります。